

一般社団法人朝霞地区薬剤師会

あさやくだより

第17号



(一社)朝霞地区薬剤師会
 発行人:広報委員長 細川 玄機
 〒351-0021朝霞市西弁財1-10-21-312号
 TEL:048-483-4125 FAX:048-483-4126
 asaka-ph@asakaph.or.jp

会長挨拶

コロナの第7波が落ち着いてきましたが、あっという間に今年度も半期が過ぎてしまいました。7月末からの第7波は行動規制も少なく、若い方々に感染が広がり、子供の感染も多くなりました。薬局で行うPCR検査は希望者で溢れ、0410対応の処方箋を多くの薬局が対応しました。

コロナ禍が始まり約3年になりますが、その時々で薬局や薬剤師が行うべき対応は変化してきました。薬局内の感染対策を心がけながら、マスクや消毒薬の物流確保に努めた初期、ワクチン接種が始まると注射液調整のために多くの薬剤師を会場に派遣し、昨年度は多くの時間をそこに費やしました。

その後は、通常業務と並行して自宅療養者支援、PCR検査場の開設、抗原検査キットの販売などが続き、業務は増えるばかりです。頑張っている薬剤師を応援するためにも、活動のアピールがもっと必要と感じています。

さて、4月からの調剤報酬改定で、調剤業務が「薬剤調整料」「調剤管理料」「服薬管理指導料」という新たな区分になりました。業務改善は進んでいるでしょうか？今回の改定

で影響が少なくても、今後この配分差はますます大きくなる予定です。薬剤師が行うべき対人業務「服薬管理指導料」の充実を是非心掛けて下さい。

対人業務を進めるキーワードを少し考えてみました。①適切な指導で外用剤、注射剤が確実に使えている。②リスクのある薬剤について、その理由や症状の知識を駆使した指導。③調剤後も状態変化に責任を持ち担当医との連携に努める。④患者のアドヒアランスに留意し無駄のない薬物治療に貢献する。⑤かかりつけ薬剤師を推進する。⑥在宅医療にも対応。

薬剤師の生涯研修がますます重要になっています。Webの研修会は家から気軽に参加できることが利点です。薬剤師会のHPで、地区医師会の研修会もお知らせしています。医師と一緒に学ぶ機会を有効に活用ください。チャットで相手先を指名したり、匿名で質問することもできます。医師とコミュニケーションをとる練習にもなりますので、積極的に利用しましょう。

会長 畑中 典子・株式会社かくの木



第32回日本医療薬学会年会のシンポジウム発表について

～朝霞地区薬剤師会地域連携員会フォーミュラリ部会の活動報告～

地域連携委員 安藤 正純・新座病院 薬剤科

秋雨の候、日増しに寒いこの頃でございますが、おかわりございませんでしょうか。

9月は日本列島を南から北まで台風が幾度も襲いました。9月23日から25日まで群馬県高崎市において第32回医療薬学会が台風接近の中ハイブリッド開催されました。

医療薬学会はとても大きな学術大会であり、教育講演やシンポジウムも多数開催されていました。開催されたシンポジウムの中で、シンポジウム60「医療の成長を目指して～フォーミュラリーがもたらす未来を考える～」において、オーガナイザーと座長を新座病院の金井先生が担当され、フォーミュラリの現在までの流れを解説し、畑中会長と安藤が地域連携とフォーミュラリ導入への検討と題し講演を行いました。同シンポジウムはフォーミュラリ推進役である内閣府の紀平先生、地域フォーミュラリの先駆者である日本海総合病院の菅原先生、民間の医薬品情報サービスを展開されている日本調剤の上田先生など第一線でご活躍の先生方とディスカッションすることができました。

安藤はグループ病院のフォーミュラリ導入の状況と朝霞地区薬剤師会地域連携員会の下部組織としてフォーミュラリ部会を設置したこと、理念と推進するための3つの柱を報告しました。

畑中会長は、地域でのポリファーマシー推進、多職種連携に

よる薬剤師・薬局かかりつけ機能の強化推進事業、疑義照会に関する合意書の締結について報告し、今後のフォーミュラリ活動として、医師・薬剤師に向けたアンケートを利用した認知の普及、薬剤師向け研修会の実施、三師会での研修会、朝霞地区モデルフォーミュラリを作る(1領域)などを提案されました。

今回の講演を通じて、朝霞地区薬剤師会の取り組みについて紹介出来たこと、それぞれの第一人者とのディスカッションはとても有意義であり、今後の地区での活動に役立てられそうです。今後も地道な活動となりますが、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



写真：左から

菅原先生(日本海総合病院)、畑中会長(かくのき薬局)、安藤(新座病院)、上田先生(日本調剤)、紀平先生(内閣府)、林先生(虎の門病院)、金井先生(新座病院)

薬局でのコロナ対応

アカネサポート薬局では、門前の医療機関であるTMGあさか医療センターの発熱外来をはじめとして、複数の医療機関とも連携し、現在ではラゲブリオカプセル、パキロビッドパックの両経口治療薬を常に在庫し、各医療機関より処方・配達依頼を受けて調剤、患者様宅への配達も実施しております。

ラゲブリオカプセルについては、1人分40カプセルがバラの状態でも容器内に入り、払い出し当初は容器のままお渡しをしていましたが、ふたがセーフティーキャップとなっており患者様より開けにくいなどの連絡を頂いたこともあったため、現在では1回分4カプセルを10包分包しお渡しする方法を取るようになっています。

パキロビッドパックについては、ほとんどの患者様が当薬局の利用歴がなく併用薬の確認が困難でありましたが、処方して頂く医療機関にて薬剤師が併用薬の確認を実施していると伺ったため、処方箋と合わせて送付して頂くチェックリストも含めて安心して患者様への服薬指導を実施できています。

また両剤の処方がない患者様についても、電話診療などを受け処方箋が発行された場合に、患者様と連絡を取り合っ て処方薬の郵送およびお急ぎの場合であれば配達も実施しています。

星野 純貴・アカネサポート薬局



ラゲブリオの投薬 在宅へのお届け

新型コロナウイルス感染症流行拡大をうけて、ファミリープラザ健康薬局はラゲブリオを取り扱い、処方が出た際に患者様宅にお届けし投薬を行いました。

はじめのうちは1週間に 2~3件のお届けでしたが、7月に入りオミクロン株の流行拡大とともに1日当たり複数件のお届けになりました。

ラゲブリオはカプセルが大きく年配の方は服用できるかどうか不安を訴える方が多く、またボトルの蓋を開ける際も押し回しができない方もおられました。当初はラゲブリオお届け時に近所の方に見られるのが嫌という方が多く、電話対応で説明しましたが、7月、8月になるとご家族やご本人がドアまで出てきて来るられるケースもあり、ドア前でお渡ししてそのあと電話でしっかり説明しました。患者様は持病をお持ちで重症化のリスクのある方のため、服薬している薬・病態などもできるだけリスニングを心がけ、急に変化した時はすぐに連絡するようにお伝えしました。服用後のフォローアップも必要時に確認しました。

幸いにも配達した患者様はみなさん重症化することもなく回復されたようです。日常業務に加えて最新の注意を払いながらの作業ですが、患者様への対応を実施したことにより多少でも地域貢献ができていないかと思っております。

広報委員 内野 裕嗣・さつき薬局

新型コロナの検査事業と医学会総会の発表を終えて

アトム薬局では、コロナ禍において地域の医療機関として無症状の方向けのPCR検査等無料化事業に参加して参りました。陽性の方ができればフォローを行い地域の医療機関への受診勧奨を含め連携を行って参りましたが、この経験を通じ薬局という立場に大きな可能性を感じました。

その理由は、オンラインでの相談とオンライン服薬指導です。アトム薬局では、自社でLINEを活用しオンライン相談や陽性の方の症状の確認を行っておりますが、コロナ対応で多忙の中、薬局機能をなんとか維持できたのはIT化のおかげと強く感じております。

相談によっては、オンライン診療ができる医療機関につなげ、服薬指導を行うことにより患者さんの利便性の向上と共に医療ひっ迫時の地域の医療機関への負担軽減につながると感じました。

今回、上記のことを含め朝霞地区医学総会にて話す機会を頂きました。機器トラブルがあり心残りは少しありましたが、その後内容について気になるとお声がけ頂くこともあり、参加できとても良い機会となりました。この場をお借りして感謝申し上げます。



災害対策委員 江口 武幸・アトム薬局

PECS登録・研修受講上の注意点!

PECS利用研修がスタートしましたが、さまざまな理由から単位が取得できない事例が出ています。利用上の注意を再度ご確認ください。



第28回埼玉県薬剤師会学術大会

メインテーマ 「選ばれる薬局・薬剤師」

11月20日(日) WEB配信

10:00~16:40

申込方法・詳細は、→
県薬HPでご確認ください。

(研修シール 3単位)



ぜひご参加
ください。



2024年9月22日・23日、
第57回日本薬剤師会学術大会が
さいたま市にて、開催されます!

実務実習生印象記 : ワールドカフェに参加して

今回、ワールドカフェに参加させていただき、薬局のあり方、特に健康サポート薬局についてであったり、学校の授業では触れてこなかった社会的資源についてであったりと、たくさんの事を学ばせていただくことが出来ました。

事前課題として社会的資源について調べましたが、実際にどんな場合に活用されるのか、どんな患者さんを対象として設立されているか、研修会前の時点ではあまり理解できていませんでした。そこで、SGDとして行ったケーススタディがとても生きてきました。例題として挙げられた「認知症疑惑のある母親と同居する共働きの娘夫婦」が抱えると考えられる問題点や不安について話し合いました。班で出た中の一つ、「今後の介護についての不安」を例に出したいと思います。

次に、その問題点を解決するにはどうすればよいか考えました。例に挙げている班の意見に対し、「相談できる場が必要」と出ました。最後に、その解決策に対し、当てはまる資源を調べた中から当てはめ、最終的に「地域包括支援センター」という介護の相談を受け付けている資源にたどり着きました。この流れを行うことによって、私が先ほど挙げた理解できていなかった点について、納得いくことが出来ました。また、発表を通じて自分たちでは思いつかなかった解決策や資源に繋がっている班もあったので、より多くの資源について、

学ぶことが出来ました。

また、健康サポート薬局について話題に出た際に、私が実習させて頂いている薬局にあるサポート薬局とは違う取り組みをしている薬局が多くあり、様々なことで、患者さんと触れ合うことが出来ることを知りました。今回のケーススタディのように、不安を抱えている患者さんやご家族の方々はとても多いと思います。普通の薬局に比べ、健康フェアや栄養相談、OTCの提供、24時間体制であるなどを通して、サポート薬局は患者さんとの距離が近く、相談に乗り、不安を取り除くような助けをすることが出来る大切な社会的資源の一つであると思います。患者さんの心のよりどころになるために、とても重要な存在であることを改めて学ぶことが出来ました。

研修会に参加できたことで、改めて学ぶことが出来たり、今回のテーマである社会的資源や多職種連携について理解を深めることが出来たりと、私の中で実りのあるとても良い経験になりました。また、他の実習生との話し合いによって、自分とは違う視点からの考えを知ることも繋がり視野を広げることに繋がりました。今回は、このような貴重な場を設けてくださり、ありがとうございました。

アカネ薬局1号店 工藤 清香・帝京大学



次号は、学校薬剤師同行の感想を掲載します。
お楽しみに♪



今回の実務実習集合研修では、大学の授業ではあまり取り扱わない健康サポート薬局と多職種連携について学びました。

事前に多職種や地域の資源を調べた上で動画の講義とグループディスカッションを行い、同じ大学の学生だけでなく他大学の学生とも話し合うことができ、自分と同じように実習をしている学生の意見を聞くことができました。私は実習生1人で実習させていただいているので、とても刺激を受けました。

ケーススタディは授業でやる問題点のわかっている症例解析と違い、問題点を探す必要があり、患者さんの悩みへのアプローチの仕方を考えることができました。ケーススタディの内容は認知症患者家族が抱える悩みについて、健康上・生活上の問題点を挙げてそれに対する対策を考えました。相談の内容を中心として、問題点、解決策と矢印で広げていく形式のため、頭の整理がしやすく考えやすかったです。「精神」と挙げているグループがあったり、私のグループでは具体的に不安に思う内容の「認知症が疑われる母がいるという不安」として挙げていて、同じ問題点の挙げ方でもグループによって違いました。

徘徊や転倒といった認知症のお母さんに関する心配事が多く挙げられましたが、介護をしている娘夫婦に対する不安や健康面などの問題点についても考えられたのは良かったと思います。2か月の実務実習を経て、患者自身という1点からで

はなく、ほかに考えられる色々な視点から必要なケアを考え、患者本人だけでなく介護をしている患者家族の身体的、精神的なケアの対策も重要だと考えました。金銭面の余裕があるかどうかを考えた上で、ケアマネジャーの方に相談したり介護施設への入所を検討したりなども話し合いました。

対策を考えていく上で多職種連携だったり、地域包括といったサービスや支援の重要性に改めて気づけました。これからの健康サポート薬局は、薬剤師として患者さんの相談に乗り、多職種につなぐ、地域の資源やサービスにつなぐ役割が求められます。

1回目のディスカッションで地域の資源についてあげましたが、そこで考えた資源に繋がれたものもあれば、繋がっていないものもありました。与えられた症例について限られた時間内に考えるため、発想力や頭の柔軟性が必要だと感じました。

コロナ禍でオンラインの開催でしたが、このようなグループワークという機会を作っていただき、とても勉強になりました。初めは緊張もしていましたが、自分の意見を発することで自信にも繋がっていくと感じ、参加できてよかったと思いました。

今日学んだこと、薬局実習で学んだことを次の病院実習や将来薬剤師として働く際に役立てていきたいです。

エール薬局学園通り店 平田 愛海・明治薬科大学

おすすめの本

「私の日本語雑記」

中井 久夫著 (岩波現代文庫)



著者は、今年の8月8日に亡くなった精神科医で、医療に関する著作だけでなく一般向けの随筆やギリシャ語・フランス語の詩の翻訳なども手掛けるような言葉の達人で、なおかつ医療に関して広い視野から柔軟に俯瞰している人でした。著者自ら断っているとおおり、厳密な文法学や言語学について書いているわけではなく、ちょっと

した言葉の使い方について気がついたことを書いています。日本語の文章を書いて悩んだ経験のある人は、面白く読めるのではないかと思います。個人的には、「五石六鶴(ごせきろくげき)」という言葉を知ったのが最大の収穫でした。

広報委員 田代 健・地球堂薬局

「あなたはどこで、死にたいですか？」

小島 美里著 (岩波書店)

(新座市・NPO法人暮らしネットえん代表)



本題のように問われた際に、今の自分では即答出来る自信がありません。自分の家で死にたいというのはよく聞く話ではありますが、それが最適な選択なのかと考えさせられる1冊です。

小島美里先生は実体験を基に各制度の解説から矛盾点なども踏まえて、安心して死を迎えられる社会を教えてくださいました。それを実現する為には、介護サービスだけでは解決できない部分を、地域の資源を活用して目指していく必要があると考えました。

またすべての人々が平等に死を迎える為に、ベーシックサービスも理解する必要があるのではと考えます。

広報委員 関 昌之・ウイン調剤けやき薬局

服薬に、美と楽しみを

友人との会話である。

「あの赤いまん丸の薬、なんかかならないの…？」
「机の上に押し出すと、転がってどこか行っちゃうのよ。」とのたまう。

いわずと知れた骨粗鬆症のあの薬である。

薬剤師としては、「剤形変更はできるかなー。」

「ムリ！」

「他剤変更は…？」

「あの効果は、やはりムリ！」

「そうか…」と思いついたのが…。

まずバカラのショットグラスか、江戸切子のお気に入りのお猪口を用意します。

そこへ全てのカプセルやら錠剤を落とします。

落ちたときの妙なる音色に心癒されることでしょう。

グラスの錠剤たちは、宝石のように光を放つでしょう。

そして、一気に口に放り込むのです。

最後に、スワロスキーのワイングラスで富士山の水で飲み下すなんていかがでしょうか。

服薬に、美と楽しみを…！！

広報委員 小暮 眞一郎・アサヒ堂薬局



俳句を楽しむ



渡邊 みち草
(監事 渡邊 美知子
あさか台わたなべ薬局)

- 白萩のほろほろこぼれ静かなり
- 花野には祖父母と母と猫ねぶる
- 冬瓜の手に沁む汁やみづみづし
- 危機管理土台を揺らす宵闇や
- 携帯のけたたましき音秋の蜂

青年部部員 募集中♪
会員、非会員、職域も問いません。
ぜひご参加ください。



編集後記

暑さもだいぶ落ち着き、過ごしやすい季節になりました。

これからは散歩するのが楽しい時期でもありますね。

自然に触れることは働きすぎた脳を休ませ、不安感やストレスレベルを減らしたり、
血圧や心拍数を下げたり、免疫力を高める効果などがあるそうです。

ここ数年では密をさけるため、登山やキャンプなどアウトドアの活動がより人気となりました。
私自身にとっても、コロナ禍は自然の重要性を再認識させられた期間であったように思います。

日々の生活が忙しいと森の中を歩くなどは難しい場合もありますが、近所の公園に行くなど出来ることから日常の生活に取り入れていきたいものです。

皆様も引き続きお体に気を付けてお過ごしください。

広報委員 酒井 清貴・なぎさ薬局あさか店



(一社)朝霞地区薬剤師会
〒351-0021
朝霞市西弁財1-10-21-312
TEL : 048-483-4125
FAX : 048-483-4126

